令和８年度第１回青梅市障害者計画等審議会

議事要旨

１　開催日時

令和８年７月２７日（月）　10：00～11：35

２　開催場所

青梅市役所２階２０１会議室

３　出席者（委員１１名）

田村会長、井原副会長（オンライン）、朝長委員、尾根委員、関委員、島田委員、森田委員、半田委員、宮崎委員、佐久間委員、神田委員

（手話通訳者）

金田氏、飯島氏

（事務局）

大勢待市長、杉山健康福祉部長、北村障がい者福祉課長、宮崎障がい者福祉課庶務係長、前田障がい者福祉課相談支援係長、笹木障がい者福祉課サービス給付係長、横川障がい者福祉課主任

（傍聴者）

１名

４　次第

１　開会

２　あいさつ

３　委嘱状交付および紹介

４　報告事項

(1) 第１回地域共生社会推進審議会の結果について

第１回審議会については、【資料２】令和８年度第１回青梅市地域共生社会推進審議会　議事要旨をもとに事務局が説明。

(2) 第１回障害者地域自立支援協議会の結果について

【資料３】令和８年度第１回青梅市障害者地域自立支援協議会　議事要旨をもとに事務局が説明を行った。

(3) その他

特になし

5　協議事項

(1) 障害者計画等の概要等について

事務局	第７期青梅市障害者計画、第８期青梅市障害福祉計画および第４期青梅市障害児福祉計画の概要を説明。 基本理念については、令和１４年度までの青梅市総合長期計画にも掲げられていることから、現計画から継続して、「インクルーシブ社会が実現するまち～違いを認め合い、その人らしく暮らせる共生のまち　青梅～」とすることについて協議を提起。
委員	障害者計画等の基本理念について、提案のとおり現行計画から継続することと決定。

(2) 令和７年度事業評価（暫定版）について

事務局	第６期障害者計画、第７期障害福祉計画、第３期障害児福祉計画評価について途中経過を報告。 担当課評価において、Ｄ評価以下の項目について個別に説明。 事業評価について、確定版を作成するにあたり、暫定版の形式にて取りまとめることについて協議を提起。
委員	Ｄ評価の普及啓発について、出前講座の要望がなかったとのことだが、ＰＲや案内はどのように行ったのか。
事務局	生涯学習だよりなどでの普及・ＰＲに務めているが、個別に団体や市民に直接発信はしていないので、なかなか認知度が上がってきていない。生涯学習の担当部署と調整しながら実績をあげられるよう努力していく。
委員	障がい者にサービス提供の周知を行うことについて、障がい者に理解できる周知なのかということを考えＰＲの仕方を検討してほしい。

事務局	承知した。
委員	相談支援体制の充実について、現在学校の現状として、特別支援教室または特別支援学級に入っている生徒が増えてきている。東京都だけでなく、全国的にもその傾向がある。児童発達支援センター業務の中で、教室の数が減ってしまっている知的固定・情緒固定のキャパシティを増やしてほしい。
事務局	今後の児童発達支援センターを設置する過程で課題としていく。
委員	防災対策中、避難行動要支援者制度について、定期的な更新はされているのか、現状の把握がされているのかという部分に疑問がある。
事務局	防災課や地域福祉課と連携しながら、御意見について話をし、時期の計画にてどうしていくかを話し合いたい。
委員	障がい者が参加する防災訓練を実現してほしい。
事務局	検討する。
委員	事務局は確定版が完成したら、速やかに委員に送付し、第２回審議会で計画策定の協議に入れるようにすることとし、事業評価について､暫定版をもって質問や意見をいただくことと決定。

(3) 障害者計画等策定のためのアンケート調査結果報告書（中間報告）について

事務局	障害者計画等策定のためのアンケート調査結果報告書について途中経過を報告。

	アンケート調査結果を調査項目ごとにグラフで示し、令和５年７月の調査と比較できる項目は比較して表示する形である旨を説明。 分析は前回調査と比較して１０ポイント以上の増減があった場合に特出して取りまとめることとしている旨を説明。 アンケート調査結果について、確定版を作成するにあたり、中間報告の形式にて取りまとめることについて協議を提起。
委員	例えば差別解消や権利擁護について、近隣市町村と比較して差別を感じる人が多いか少ないかを合わせて数値で示すと理解につながりやすいと思う。
事務局	数値の現実味を持たせるために、他自治体との比較数値を資料として調べてみたい。
委員	事務局は確定版が完成したら、速やかに委員に送付し、第２回審議会で計画策定の協議に入れるようにすることとし、アンケート調査結果報告書について、中間報告をもって質問や意見をいただくすることと決定。

(4) 児童発達支援センターの設置について

事務局	児童発達支援センターの設置について、設置に向けての現状報告と市の考えについて説明。 障害者計画等審議会および障害者地域自立支援協議会で協議するとともに、庁内関係部署との意見交換を行い、令和９年度の開設に向けて、児童発達支援センターの連携に関する協定書を当該事業者と締結することについて協議を提起。
委員	しろまえ児童学園が廃止された過去があることから、同様の役割が民営化されることについてどのように考えているか。

事務局	しろまえ児童学園については、青梅市の公共施設の再編計画の中で、議会等の中でも御承認いただいて廃止した経緯がある。今回は、事業者からお話をいただいていることもあり、市としてもできることを一緒に勉強しながら設置に向けて取り組んでいきたい。
委員	予定されている開所時間について、共働きの夫婦のことを考えて、回数限定でもいいので平日以外の開所について市から要望を出せないか。
事務局	市として開所日について定める権限はないが、事業者と相談の上、検討していきたい。
委員	児童発達支援センターの設置について、提案のとおり事業者と協議を続けることと決定。

(5) その他

特になし

6　その他

(1) 次回の開催日程について

令和８年度第２回青梅市障害者計画等審議会

令和８年８月２５日に開催予定

青梅市役所２階　２０３会議室

以　上